

秋葉区

No.14 2008.2.4

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp>

[/~hiro-line/nk9jo/index.htm](http://hiro-line/nk9jo/index.htm)

「秋葉区九条の会」2周年のつどい

記念講演 戦争と平和

世界の中の憲法9条！

小森陽一 東京大学教授、文芸評論家、九条の会事務局長

日時 3月16日(日) 14:00~16:00

会場 新津健康センター はつらつホール

「秋葉区九条の会」の結成二周年を記念して「つどい」を開催することにしました。記念講演は全国九条の会の事務局長、小森陽一さんをお願いすることにしました。歯切れのよい、たいへんわかりやすい話をされる小森さんですから、必ずや新しい知見を与えてくださるものと、事務局一同期待しているところです。

そこで一人でも多くの皆さんに聴いていただけるよう、案内チラシを同封しますので、まわりの方々に大いに宣伝して下さるようお願いいたします。

記念講演の他にアトラクションとして、コーラスや楽器演奏などの企画を考えています。また、記念講演の後に、「小森陽一さんを囲む懇談会」も企画折衝中です。

小森陽一さん プロフィール

1953年生まれ54歳。東京都出身の日本文学者。北海道大学文学部、同大学院文学研究科博士課程終了。成城大学勤務を経て、東京大学大学院総合文化研究所・教養学部教授。

全国「九条の会」事務局長。

父親の仕事の関係で、幼少期、中学時代までチェコスロバキアのプラハで過ごす。

高校1年生で生徒会長に選出され、全校ストライキを組織し、「生徒権宣言」を学校側に受諾させる。夏目漱石の「こころ」の解釈を巡って東大教授・三好行雄と論争。文学評論にとどまらず、政治的な発言も多い。

フリー百科事典「ウィキペディア」より



主な著書

- 『夏目漱石をよむ』(岩波書店)
- 『漱石を読みなおす』(筑摩書房[ちくま新書])
- 『最新宮沢賢治講義』(朝日新聞社)
- 『世紀末の予言者・夏目漱石』(講談社)
- 『小説と批評』(世織書房)
- 『日本語の近代』(岩波書店)
- 『ポストコロニアル』(岩波書店)
- 『歴史認識と小説——大江健三郎論』(講談社)
- 『表現する人びと』(新日本出版社)
- 『レイシズム』(岩波書店)
- 『ことばの力 平和の力——近代日本文学と日本国憲法』(かもがわ出版)
- 『理不尽社会に言葉の力を』(新日本出版社)

「9条世界会議」が開催されます！

とき:5月4,5,6日 ところ:幕張メッセ

主催:「9条世界会議」日本実行委員会



「9条世界会議」日本実行委員会は、9条世界会議の企画・実行し、財政責任をもつ組織で、幅広い個人・団体からなり、2007年1月に発足しました。池田香代子(翻訳家)、新倉修(日本国際法律家協会会長)、吉岡達也(ピースボート共同代表)を共同代表とし、事務局はピースボート内に置きます。

「9条を使って世界を平和にする方法」を多面的に論議したいと思います。そのほかに、展示やブースのコーナーを多数設けます。ピースコンサートの計画もあります。最後に「9条世界宣言」(仮)のような文書の採択をめざします。

〜〜「9条世界会議」Q & A〜〜

なぜ「9条世界会議」なのですか？

戦争の放棄と軍隊の不保持をうたった日本の憲法9条は、アジア・太平洋戦争の惨害と反省の上に立って、世界に対する「不戦の誓い」として生まれました。そして60年以上にわたって、日本とアジアの人々の信頼関係の礎となってきました。

いま世界では、暴力と戦争の連鎖が続いています。イラク情勢は泥沼化し、中東は大きな危機を抱えています。また、朝鮮半島の核問題で、東アジアは新たな軍拡競争にさしかかっています。そんな中、日本の9条は、平和をめざし活動する世界の多くの市民に勇気を与える存在です。日本国内で「改憲論」が高まる今だからこそ、世界の共有財産としての9条の価値を、世界の人々と共に見つめ直したいと思います。

何をめざしているのですか？

日本の9条は、日本だけではなく、世界の平和をつくり出すための鍵になります。アジアに地域平和メカニズムを作ること、軍事費を減らして貧困をなくすこと、軍事基地をなくして地球環境を守ること、一人ひとりの人間の安全が守られる持続可能な社会を作ること・・・9条は、そういった可能性もっています。

「9条世界会議」は、日本の多くの人たちにとって、9条のもつ価値を再発見し9条をもう一度選び取るチャンスになります。「9条世界会議」はまた、「武力によらない平和」という考え方を世界の常識にするための地球的ムーブメントを起こす場にもなります。

どんな会議にするのですか？

幕張メッセで予定している会議では、マイレッド・コリガン・マグワイアさんらノーベル平和賞受賞者らによる講演、パネルディスカッションに世界の音楽を織り交ぜた全体会を7000人規模で行います。さらに、数十の分科会や自主企画を行って

平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、
皆でつなぐ、平和のメッセージを！

「歌おう、キュウジョウノウタ！」

五十嵐健彦(新潟県音楽九条の会)

新潟交響楽団は、昭和6年設立。日本でも有数の「老舗」のアマチュア交響楽団。私はそこに所属している。今では、百名近くの団員が毎週、音文の練習室に集まっては、演奏会に向けて練習に励む。しかし、楽団の歴史をひも解くと、戦前から戦後にかけて、長く、演奏会どころか練習さえできなかった時代がある。戦時中は、全てが戦争に動員されるなか、楽器の調達、団員の確保に大変苦労したという記録が残っている。また戦後は、公会堂が米軍に接収されるなか、練習場所を探すのにも苦労したらしい。そんな苦労を乗り越えて、自由に音楽活動をしたい、好きなクラシック音楽を多くの広めたいと、一生懸命がんばってきた先輩たちを私は大変誇りに思っている。

そうなのだ。「自由な音楽活動は、世の中が平和であってこそ！」

そう思った私は、楽団の仲間や、知り合いの合唱の人たちを誘い、一昨年(2017年)の11月に最初の会議を開いた。その場で「新潟県音楽九条の会」の立ち上げを決定。県内の幅広い音楽家に呼びかけて、楽しく音楽をやりながら憲法九条を守る取り組みが始まった。呼びかけ人には新潟交響楽団の団長を始め、新大の音楽科の教授や、有名なフォークシンガー、シャンソン、民謡、津軽三味線の先生、吹奏楽の指導者などが名を連ねてくれ、賛同者も続々集まって100人を突破。そしていよいよ発会の日、4月29日。会場の黒崎市民会館には約300人が集い、吹奏楽、民謡、ソプラノ独唱、合唱など多彩なジャンルの平和の調べを堪能したのでした。

会の活動は始まったばかり。今後も多彩な顔ぶれで、キュウジョウノウタを歌っていく予定です。